

10 これからの金山町

(1) 人々の^{ねが}願いと町の計画

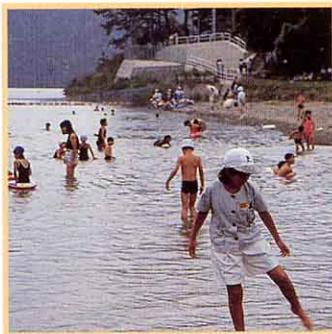
昭和30年、川口村・本名村・沼沢村・横田村の4ヶ村がいっしょになって、新しい「金山村」ができました。昭和33年4月には、名前が「村」から「町」になりました。

金山町のしるし（町章）は、町の人々がみんななかよく助けあってふるさとを大切に、^{きぼう}希望を持って^{みらい}未来に^は羽ばたこうという気持ちを表しています。みなさんは、金山町をこれからどんな町にしたいと思いますか。

町では、もっと^{ゆた}豊かな住みやすい金山町にしようと、次の三つのことを^{きほん}基本にして、国や県、となりの町や村とも^{きょうりょく}協力しながらいろいろな仕事を進めています。

- 1 自然をたいせつにしてください。
- 2 金山町の^{とくせい}特性（いいところ）を生かす。
- 3 「みんなのふるさと金山」として^{ひら}開かれた町にする。

下の写真は、このこととどんな関係があるでしょう。



沼沢湖で楽しむ人々



フェアリーランド金山スキー場



友好都市 羽生市役場